

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームつつじⅢ 第一ユニット	評価実施年月日	平成20年4月～平成20年12月
評価実施構成員氏名	今 由紀 東海林 友里 一郷 奈津美 西村 久子 武田 絵里奈		
記録者氏名	今 由紀	記録年月日	H21.2.15

北 海 道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>その方らしく過ごして頂けるように援助し、わかりやすい理念があります。地域密着についての理念内容については検討しています。</p>		<p>常に理念の意味を考え、近隣との交流(美容室の利用、小学校、中学校の催しの参加等)も更に続けていきたいと思ひます。又、ミーティングの際に、方針や尊厳についても伝えていひます。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>玄関、事務所や休憩室等、目につきやすい所に理念を貼っています。定期的に社内研修で内容を確認しています。</p>		<p>職員間でしっかり理念を共有し念頭においてご利用者様がその人らしく過ごせるように支援していきたくと思ひます。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>ご家族の方々や来訪される方に見やすい所に理念を貼っています。又、地域の方と触れ合える機会を大切にしている事をお伝えしています。</p>		<p>今後も推進委員会に、ご家族や地域の方、ご利用者様に参加して頂き、日常の取り組みや生活を知ってもらいたいと思ひます。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>通勤時、隣接の病院スタッフの方、面会に来られる方、散歩時にお会いするご近所の方にご挨拶させてもらっています。</p>		<p>玄関の周りにお花を飾ったり来訪しやすい工夫をしています。今後も散歩等の機会にご利用者様を交えての交流を増やしていきたくと思ひます。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>近くの美容室にでかけたり、地域のボランティアの方々(書道・音楽)に来て頂いています。又、小中学校や町内会の催しの際にもお知らせしています。</p>		<p>地域の小学生や中学生が気軽に立ち寄れるように、これからも交流を深めていきたくと思ひます。隣接の病院の盆踊りにお誘いをうけ、毎年参加させてもらっています。盆踊りを皆で踊り、楽しいひと時を過ごしています。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>NPOの方々による協力を得ています。</p>		<p>夏祭りや音楽会、畑や花壇作りに協力をお願いしています。この機会にお誘いし地域の方とふれあう機会になればと感じています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全体で取り組み、評価してもらう事で、よりステップアップできるようにと考えています。</p>		課題を受け止め、自己評価、外部評価を行い改善に努めていきたいと思えます。又、これからの目標とします。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>当ホームにて、2か月に1度地域の方々、ご家族の方々に、ご利用様が参加される中、運営推進会議を行い、意見交換させて頂いています。</p>		都度、ご利用者様に参加してもらっています。色々な話しを伺う事ができるので、今後も向上できるようにと思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>毎年、地域主催のふれあいフェスタに参加させて頂いており、運営推進会議の際、地域包括の方に相談しています。</p>		今後も地域との交流に参加していきたいと思えます。札幌市の主催する協議会等にも出席しています。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>管理者等、研修で学びました。</p>		他のフロアで制度を利用しているご家族がいらっしやった為、成年後見人制度を知る機会がありました。今後も学ぶ時間を作りたいと思えます。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待防止のシンポジウムや研修に職員が参加しています。又、社内研修で学び、職員全員が認識しています。</p>		これからも更に虐待の内容を把握し、細心の注意をはらっていきたくと思えます。身体拘束廃止推進委員会(社内)で拘束や虐待について、定期的に学んでいます。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約を交わす前後に、ご家族とよくお話ししています。何度もご家族の方やご利用者様の方に見学・体験等して頂き納得して頂ける様にしています。</p>		重要事項説明書に掲示しています。心配事を伺い、ゆっくりお伝えしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の面会時、運営推進会議等でお話して頂いています。		定期的な面会のない方には、電話・お手紙等でお知らせし ご意見が聞けるよう配慮しています。お話の際は、個人的にご意見を伺えるように努めています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ご家族の面会時に日中の様子をお伝えしています。面会に来られないご家族には、お電話しお伝えしています。お小遣い残高と日中の様子をお手紙にして、2か月に1度送付しています。		今後もご家族との連絡を続け、家事のお手伝いや季節に合った衣類等について小さな事でもお話していきたくと思います。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	現時点で苦情はありませんが、気軽に話せるように、又は皆で共有し反映していけるようにと思っています。		職員の言葉づかい・態度等ご不満がないか、いつでも気軽に話して頂けるようにと思っています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期会議(年4回)開催され、自分達の意見を話せる時間が確保されています。常に意見等を言える環境にあります。		会議以外にも 話しを聞く機会をつくり職員の提案等を反映できるようにと思っています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	体調の心配、変化があった場合は応援体制があります。勤務に支障がない事を確認し変更をしています。		都度、状況により事務職員のヘルプなどで調整しています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	大きな変動はありませんが、何かあれば管理者がお話をゆっくり伺ったり、時に接点を作り不安を少なくしています。		個人的にゆっくり関わりを持ち、お気持ちを伺います。他階との交流する場面があり馴染みの関係を深められるよう心がけています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	月に1度、社内研修を行い知識を身につける機会があります。管理者、その他の職員が交替で研修を開催したりリードする機会を作っています。	社内、社外研修に参加し、学ぶ時間を持つ事で資格取得の受験を目指せるように勧めています。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	札幌市や手稲区のグループホームの集まりに参加しています。必要に応じて職員に内容伝達しています。	電話で空室状況や書類の書き方の相談をしたり、これからも情報交換や学ぶ場面に参加し交流を深めていきたいと思っています。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	休み時間や仕事終了後の時間に職員同士で気軽に話せる状況にあります。又、仲間同士で出かけたりしています。	親しい人と話したり、先輩に対応してもらっています。今後も働きやすいように努めていきたいと思っています。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	ケアプランを具体的に活用しています。一人ひとり自分なりに目標を持って働いている様子が見受けられます。	思いやりを持って接している姿を評価し、又 自分の意見を話す事や達成感を味わえるようにと思っています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご本人のお話をゆっくり伺い少しでも不安の軽減につながるように努めています。	何度も見学を勧めたり体験時間を設け負担のないように努めています。都度、お話を伺うようにしています。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	いつでもお話しを受けることができる状態にあります。特に時間外でも相談に応じる事があります。	話しやすい雰囲気大切にしています。気軽にお話しして頂けるように努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人やご家族のお話を伺い、出来るだけお気持ちに添えるようにと努めています。「今、お困りの事は何ですか?」と問いかけています。まず、解決策を提案し安心して頂いています。		状況により、グループホーム以外の施設やサービスが必要な際は、ご本人やご家族の思いに合った対応をするようにしています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人に負担がかからないよう、いきなり行動を起こさず、ゆっくりと不安にならないよう心がけています。月・季節の行事に参加を促してホームに遊びに来て下さるよう話しています。		ご本人のお気持ち、生活環境を考え、安心して生活できるようホームの生活を見学して頂けるようにお伝えしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	ご本人らしさを尊重し、沢山の事を教えて頂きながら生活しています。一緒に関わる事で得意な事を見つけ生活の中で参加する機会を作っています。		これからも色々教わりながら、ご利用者を敬う毎日を過ごしていきたいです。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家事のお手伝いや時間をかけて何かをやり遂げる事ができた内容をご家族にお伝えし、ご本人らしく過ごしやすい環境を作っていけるよう心掛けています。		楽しそうに取り組まれている内容や気になる事等を今後もご家族に話してご本人を支援していきたいです。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご本人、ご家族とよくお話しし、普段行っている事や今までの生活歴を知り、より良い関係になるよう努めています。		面会の際に生活の様子をお伝えし、又お電話やお手紙でもお知らせしています。ご家族の方からも昔の事や今の思いを話して下さいます。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	今までの生活をふまえて親しい方との関係を大切にし、暮らして頂けるよう努めています。		ご親類、ご友人、以前ご近所に住んでいた方等、訪ねてこられるので今後も継続していきたいと思えます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	生活環境を共にする上で、それぞれの生活観を尊重し、又ご利用者様同士の関わりに職員が介する事で安心できるよう心掛けています。		ご利用者様同士、考えや感じ方の違いもあるので、職員が状況と関係を把握し、歌や裁縫等の時間を一緒に共有できる方々と過ごしたり孤立しないように努めていきたいと思っています。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所後も近隣の病院でお見受けする事もあり、ご挨拶したり現在の様子をお知らせして下さるご家族もいらっしゃいます。		共に生活してきたご利用者様やご家族と関わりを断ち切るのではなく、お見かけした際に気軽に立ち寄って下さるようお伝えし、今後もこのつながりを大切にしていきたいと思っています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	これまでの生活をふまえ、ご本人の暮らし方のご希望に少しでも添うように努めています。携帯電話でご友人とお話したり、周りの方との時間を尊重しています。		ご本人のお気持ちを尊重し出来るだけその人らしく過ごせるように思っています。個別でお部屋で話したり、ご本人の思いをいつでも話して頂けるようにしています。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの暮らしをご家族に伺い、把握に努めています。又、フェースシートを作成し他階の職員にも社内研修時に伝達しています。		これからもお一人お一人の生活環境等を念頭におきよりよく過ごせるよう接していきたいと思っています。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の過ごし方、心身状態等記録に残し、現状を職員に伝達する等行い、体調やお気持ちの変化を把握するように努めています。		その日によって心身状態が変わるご利用者様がいらっしゃるので現状を把握することは大切だと思うので職員間で情報を共有しその都度対応しています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	3か月に1度モニタリングを行い、ケアプランを見直し ご家族にご意見を頂きながらご本人にとって暮らしやすい環境になるよう介護計画を作成しています。		これからもご利用者様がよりよい暮らしができるよう現状をご家族と共有し意見を伺いながら介護計画の作成と見直しを続けていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監視のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画の期間に応じ見直し、対応できない変化があった場合は、内容確認、対応について都度話し合いを行い介護計画を作成しています。		ご本人の状況を把握し現時点で今、必要な事を最優先に考え上司に相談・ご家族にお伝えしています。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別に生活の様子、心身状態、ケアの実践等を支援経過や介護記録に記し、情報を共有し介護計画の見直しに活かしています。		今後も、より良い暮らしを続ける為、気づいたこと、ケアの実践、結果を個別に記入し情報を共有し今後の介護計画に活かしていきたいです。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	近くの美容室や他科受診に職員が同行しています。		ご本人、ご家族の要望にできるだけ応じることができるよう、今後も支援していきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	年に2度手稲区の消防署に消防訓練を行ってもらっています。町内、小学校の生徒さんとの交流、民生委員、地域のボランティア(書道・カラオケ・音楽の先生等)方々と定期的に関わりを持たせてもらっています。		今後もご協力頂き、暮らしやすい環境になるように努めていきたいと思えます。暖かくなりましたら、老人会の踊りの方に舞を披露してもらえたらと思えます。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のマネージャーや病院の相談員に相談します。		ご利用様が安心して暮らせるようにと思っています。地域のケアマネージャーが入居相談の連絡等を下さいます。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	2か月に1度、定期的に推進会議のお知らせを行い出席して下さっています。		推進会議では地域包括とはどういう仕事をしている所かを推進会議でご家族やご利用者様にお話して下さいます。地域の活動に参加させて頂き、今後も継続できるようにと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	かかりつけ医があり、状況に応じて心配事等都度、相談しています。		ご家族に相談し、必要に応じて受診しています。歯科も隣接しているので定期的に治療に行かれる方もおります。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	理解あるかかりつけ医が近隣にあり定期的に受診し日常の様子や変化をお伝えしています。		受診の待ち時間にも配慮して下さいます。専門医の診察が必要な際は、紹介して下さいます。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ病院、外来看護師に相談しています。		血圧や排泄について・心理面等、小さな事でも相談させて頂いています。今後も継続していきたいです。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入・退院の状況や現状を把握し病院やご家族と連絡をとっています。		退院後も具体的に医療スタッフ、相談員の協力体制があります。これらもご利用者の不安が軽減できるように努めていきたいと思ひます。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご本人、ご家族と話しあい、協力病院や他施設等に相談しています。		今後もご家族との話し合いを大切に、ご家族もご利用者様も安心して過ごせるよう取り組み、その方に合った場所の利用を支援していきたいと思ひます。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	主治医の指示のもと、ご家族と話し必要に応じて対応しています。		医療的治療後にホームでケアが行える部分を見つけ生活の維持を図っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>何よりご本人の心情に配慮し、ご家族と話し対応しています。ご家族の方と特養の見学に出かけ今後の事を話す時間を作っています。</p>		<p>住み替えについて、その方に合った場所と感じて頂けるようにお伝えしています。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>人生の先輩に馴れ合いにならない柔らかい口調で話し接しています。言葉づかいや態度は人としての基本と話しています。</p>		<p>ご本人の気持を最優先に考えます。それぞれの尊厳を重視し、これからも敬う気持ちで接していきたいと思えます。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ご本人が決めるという事や自信につながる事、又その時の様子、状況の中安心して過ごせるよう支援しています。好みの物を複数用意し選んで頂く事があります。日ごろから好きな物、得意な事等、把握しています。</p>		<p>今後も意向を話しやすいよう伝え方を工夫し、ご本人に判断して頂けるように取り組んでいきたいと思えます。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ご本人のこれまでの生活習慣や時間の流れを尊重した対応に心掛けています。起床時間、食後の過ごす時間等、ご自分で決めてもらっています。</p>		<p>無理強いしないで人生の先輩という事を忘れず、やわらかい言葉掛けで接しながら支援したいと思えます。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>その方、それぞれの身嗜みを尊重しています。理美容室は、ご本人の希望時、又2～3か月に一度声掛けています。その日の服はご自分で選んで頂いています。</p>		<p>今後もその人に合った身嗜みやおしゃれができるように支援します。男性は散髪、ひげを剃ってもらっています。美容室でお店の人との会話も楽しそうです。出かける時のコートや靴も決めてもらえるような声掛けをしています。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>やりがいになる事(配膳・食器拭き・テーブル拭き)はご利用者様に合わせて声掛けにてお願いし必ずお礼の言葉を伝えています。又、お一人お一人に合わせて食器や盛り付け等を工夫しています。</p>		<p>食事の用意や片付けの時、一緒に行いその方のペースを尊重しています。おかずの香りや味噌汁の湯気を感じたり、馴染みの方と楽しい時間をもったり使いなれた食器を使い、一緒に生活の流れを感じています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	健康面に配慮し好みの物を出来る限り提供しています。お菓子・果物等、お好みの物をご本人、ご家族の方の希望でお預かりし食べて頂いています。		食べ物に制限がある方がおりますが、味付けや盛り付けに工夫したり意向に出来るだけ添えるように心掛けています。たばこを楽しむ方には場所を用意するよう心掛けています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	その方、それぞれの排泄状況を把握し都度職員間で情報交換、共有トイレでの排泄を基本としその方にあった排泄を安心して行えるように心掛けています。		トイレで自然排泄の基本と心がけています。自尊心やプライバシーに十分配慮した柔らかい声掛けや関わりをこれからも続けていきたいと思えます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	時間を変えて入浴したり希望を尊重し入浴して頂く事があります。それぞれの入浴の好みを把握し、安全に入浴を楽しめるよう支援しています。体に支障がない程度にゆっくり温まってもらっています。		プライバシーに配慮し爽快感につながるようにと思っています。状態により部分浴を行う事もあります。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	それぞれの方の睡眠習慣を把握し、又、その日の心理面を考慮し安心して気持ちよく休息されるよう心掛けています。夜のテレビを楽しみにされている方が夜勤者と一緒に楽しんでいることがあります。		日中に軽体操や程よい歩行や活動により夜の睡眠につながるように、又就寝前にあたたかい物を飲んだりリラックスした気持ちで休められたらと思っています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	洗濯たたみや食器拭き等いつも感謝の気持ちを伝えています。ボランティア活動(茶道・書道)に参加し毎月楽しみにされている方がいます。ボランティアの方にもその事を話し声をかけてもらっています。得意な事を続けて頂き張りのある時間がもてるようできるだけ支援しています。		関わりの中で昔の習わしや生活の知恵をご利用者様に教わる事も続けていきたいです。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を少しご自分で持っている方が少人数いらっしゃいます。他、お小遣いは事務所金庫にお預かりしています。		ご本人より要望がある際、承り近くの店に買い物に行っています。受診の帰りにお買い物に出かけた事もあります。毎月 お寺さんがお参りに来て、ご自分でお菓子・お布施に気配りをされています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p> <p>近くの公園にお弁当を持ってお花見に出かけます。草花の成長や畑の手伝い等、ご本人に伺い外気に少しでも触れられるように心掛けています。冬は他階とお茶や音楽を楽しむ時間があります。</p>		<p>これからもその日のご本人の気持ちを尊重し日差しや季節感を感じて頂き、近くに出かける回数がもう少し増えたらと考えています。ご家族と昼食に出かける方もおります。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p> <p>年に2度、バスで出かける際に手稲山や銭函の海を見に行きました。又、ご家族と買い物や食事に出かけられる方もいらっしゃいます。ご家族が遠方の方は衣類や甘味類を買いに出かける事があります。</p>		<p>職員と近くに散歩によく出かけます。要望があれば出来るだけ考えてみたいと思います。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> <p>ご自分で携帯電話を持っている方は、好きな時にかけられています。手紙や葉書をお孫さんやご友人に書かれる方もいらっしゃいます。</p>		<p>手紙のやりとりをして返事を書かれたり近況報告に電話をかけたり等、今後もご本人のお気持ちに添った支援をしていきたいと思っています。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> <p>これまで馴染みのあるご友人が見え、お部屋でお茶を楽しまれたり、ご家族の方と食堂でテレビを観たりされています。友人が手作りのおかずを届けてくれる事があり著休めに頂いています。</p>		<p>お坊さんや遠方よりご友人が来られる方もいらっしゃいます。これからもくつろげるような環境でありたいです。</p>
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> <p>身体拘束廃止推進委員会を年に数回、職員で行っています。社内研修で確認、社外研修に参加した職員より伝達講習し内容伝えていきます。</p>		<p>人として、人生の先輩として基本を念頭におき接しています。</p>
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p> <p>居室には鍵はついていません。ご利用者様の安全上フロアの出入り口、玄関は鍵がかかっている時間があります。</p>		<p>デイサービスと玄関が共有の為、安全を第一に考えています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	それぞれの方の日頃からの生活スペースや時間の流れを知り又職員間の情報交換を行いながら支援しています。必ず声をかけてお部屋を訪れています。「いいですか」と返事を確認しています。		職員間でしっかり、引継ぎを行い、歩行が不安定な方や気持ちが沈みがちな方の様子の把握に努めています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	針やはさみ等はこちらでお預かりしています。ご希望によってお出ししています。職員と一緒に行って安全を確かめています。		ホームに入所前、安全の為に預かりする事をご家族に予めお話ししています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	その日の体調、様子を職員間で共有し研修や自主訓練での知識の習得を行い、安全につながるよう心掛けています。		研修時で確認し職員一人ずつの知識を高めて迅速に対応できるように心掛けています。年2回実施しています。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	救急救命の講習を受けた職員より伝達講習を行っています。		急変に迅速に対応できるよう職員の声掛けや行動が適切に行えるようにしていきたいと思います。社内研修で定期的に学んでいます。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	週に1度、各フロアでご利用者様と一緒に避難訓練を行っています。隣接の病院に協力を得られるようお伝えしています。		非常口、消火器、非常階段の伝達を確認しています。近隣の方との交流により協力が得られるように考えています。運営推進会議でも議題としています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	足どり、姿勢、食事の摂取量、身の回り事等を話し安全な方法をとらして頂いています。ご利用者様の様子の変化等お伝えしています。		日々の生活での出来事や様子の変化を都度、話して相談しています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタルチェックを行い、日々の変化を記録しています。歩行状態、顔色等小さな変化に気付けるようにし気付いた時には、すぐに職員間で確認し、対応できるような情報の共有に努めています。		職員間の情報交換を行い日々、表情、心理面、顔色、歩行、食事摂取量等の変化に注目しています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	その方に合った服薬援助を行い、飲み込みの確認をしています。全ての薬の目的や副作用をすぐ確認できるよう一覧表を作成して、いつでも参照できる場所に設置しています。手渡ししご自分の名前が確認できる方、手のひらにのせてお渡しする方、口の中に入れて服用して頂く方等、その方の出来る範囲で行っています。		協力病院の薬剤師の方に詳しく教えてもらう事もあります。ご利用者様がどんな薬を飲みどのような効果があるのか認識し安全な対応できるように日々確認していきたいと思います。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分量、排便表を毎日ついでけることで排便のペースや水分量を把握し、便秘に早く気付けるようにチェックしています。日々の体操や運動で体を動かす機会を作っています。		体操や運動をあまり行っていない方の身体機能に合った体の動かし方を考え実施していきたいと思います。飲食物の種類や好みを知り、又水分量を1000cc以上摂れるよう目標にしています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後の声掛け、見守り、洗面所への誘導、磨き残しの援助等、お一人お一人に合った支援を行っています。2日に1度歯ブラシ、うがい用コップの消毒実施シタフデント使用者への声掛け、援助を行っています。		日々の食事、水分摂取量とお気持ちに変動ないか把握し心配事があれば主治医に連絡します。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分量毎食確認し、記録しています。それぞれの食事形態、嗜好、口腔状態を把握し野菜、肉、乳製品をバランスよく摂取できるようにと思います。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	年1回のインフルエンザの予防接種受けています。日々の手洗い、うがい、食事前、外出後の消毒に努めています。床拭きや加熱したものを調理しています。感染症対策委員会を立ち上げ予防に努めています。		勤務前にうがい、手洗いを行っています。外出時(受診時)、マスク着用し外出から戻った際は手洗いを行っています。外からの面会の方にも手洗いを勧めています。風邪をひいている方の面会はお断りする事があります。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材は業者から新鮮な物を必要な分だけ届けてもらうようにしています。十分な加熱にも努めています。スポンジ・布巾・まな板等は毎日消毒しています。盛り付けは箸・スプーン・ディスポ手袋等使用しています。		台拭き、食器拭きの消毒回数を増やす事で菌の発生の危険性を減らしていきたいと思います。毎日の消毒を徹底して行っていきたいと思います。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関は明るい雰囲気ですロープや手すりが続いています。周辺には小さな畑や花壇があります。		やわらかいピンクを基調とした壁につつじの花が映えています。玄関周辺の整頓を今後も続けていきたいと思っています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	中庭側に窓が多いので日差しや季節感を感じる事ができます。ベンチ椅子で本を読んだり、お茶を楽しまれる光景を見かけます。		ベランダから景色もよく、ホーム全体が過ごしやすい造りになっているので、今後も安心してゆったりと過ごせるようにと努めています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	皆が集まってテレビを観たり、談笑できる場所を中心に廊下に日の当たるベンチ、一人になれるソファを設置しています。お一人で体操したり、本を読んだり又仲間と世間話をされています。		他階に遊びに行き行ってテレビを観たり歌ったりされたり等、皆で過ごす時間やお一人で過ごす時間も尊重しています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人とご家族に普段から使い慣れた家具等を置き、自分らしく過ごせるように配慮しています。		タンス・ベット・鏡台・仏壇・バック・エプロン等今まで使っていた物を使って頂き、これまでの生活のように穏やかにくつろげるようにと思っています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	定期的窓を開け、空気の入替えを行っています。温度計にて湿度確認、ご利用者様に実際に適温であるか確認し調整を行っています。夜間、皆さんが部屋に入って就寝されている時間に窓を開け空気交換し又湿度数をチェックしています。		加湿器も使い1週間に1回消毒をしています。寒い時期は直接、冷気がご利用者様に当たらないよう工夫した換気を行い、ぬれタオルを用意して、お部屋の乾燥を和らげています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	玄関外スロープに手すりがあり、建物の中、フロア内に沢山の手すりがあります。床素材は安定している物を使っています。利用する頻度の多いトイレ、洗面所等、特に掴まる部分に配慮があります。		すぐ座れる場所、手すりの位置は小さい方でも使えるような高さ、キッチンの流し台も低めに作られています。共同トイレ前や自室の間違い防止、歩行状態不安定な方のお部屋の前にスポットライトがつきわかりやすくしています。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	自尊心に配慮し、不安な事にはさりげなくお手伝いし、安心して行動できるように関わっています。出来る事を続けられるよう言葉掛けを続けています。排泄の失敗時は特に一对一を心掛け自室トイレ等で動作や言葉遣い等、気配りをしています。		今後も自分らしく生活できるよう自信の回復につなげたいと思います。その時々状況に合わせ、重荷にならぬようゆっくり関わりを持ちます。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物の外に花や植物を置き、成長を観察したり水やり等行い、ベンチ・椅子・テーブルを置き、天気の良い日に集まりお茶を楽しみます。又、小さな畑があり世話をしたり収穫を楽しんでいます。		中庭からの空模様、ベランダの洗濯物の取り込みの後に近所の家並を見たり季節感を味わっています。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	③
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>①</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>②</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
無理強いせず、その方らしく、ゆったり過ごせる様にと考えています。